

## 笛川ブロック交流研究会

「小中連携を深めるとともに、地域の様子や子どもたちの実態を知り、指導に生かしていこう。」

### I 主題設定の理由

同じ橋上地区で学ぶ児童・生徒をともに教育していくという立場から、児童・生徒の基盤である地域の今日的な課題に迫る学習会、小中学校の授業参観・交流会を計画、実践していく。こうした活動から、教師間の連携を深め、児童生徒への理解を図るとともに、系統的な教育活動を目指していきたい。

### II 研究の内容

#### 1 第1回ブロック交流研究会

- (1) 日時 8月4日(金) 14:00～
- (2) 場所 琴川ダム
- (3) 目的 地域を知るとともに、教師間の交流を図る
- (4) 内容 ダムの役割・目的についての学習

#### 2 第2回ブロック交流研究会

- (1) 日時 11月22日(水) 14:00～
- (2) 場所 笛川中学校
- (3) 目的 中学校の授業を参観し、生徒の様子を把握する。児童も一緒に参観することで、児童は中学校の授業の様子を体験する。また、学習や生活の様子の情報交換を行い、地域の教育的課題を明らかにするとともに、小中の連携を図りながら今後の教育活動に生かす。
- (4) 内容

##### 〔授業参観〕

学年	教科	授業者	単元・題材
1年1組	社会	武井 晴彦	平安の都と摂関政治
2年1組	家庭科	奥山万寿美	日本の食文化の伝承
2年2組	数学	酒井 幸政	平行と合同
3年1組	学活	武井 善史	入試に向けた面接練習

##### 〔情報交換会〕

- ・小中各担任からクラスの様子について
- ・小中連携の具体的な取組について

#### 3 第3回ブロック交流研究会

- (1) 日時 1月17日(水) 15:10～
- (2) 場所 笛川小学校
- (3) 目的 小学校の授業を参観し、特に6年生について情報交換をし、今後の教育活

動に生かす。また、今年度の小中連携の取組について成果と課題を出し、来年度の取組の方向性を議論する。

#### (4) 内容

〔授業参観〕 → 学級閉鎖のため実施できず

〔情報交換会〕

- ・今年度の小中連携の取組の反省
- ・来年度の小中連携の取組の方向性の決定

### Ⅲ 成果と課題

#### 1 成果

- ・小学校高学年と中学校1年生の家庭学習を共通の形式にしていくことが決まった。実際、小学校では2学期から取組を始めていて、学習の振り返りとしてとても効果があると保護者からも感想をいただくことができた。今後学習面での中1ギャップの解消が期待される。
- ・生徒会と児童会で合同あいさつ運動を実施し、交流をすることができた。
- ・中学校からの出前授業を実施することができた。中学校の教員としては児童の実態把握、小学校の児童としては中学校の教師の授業を受けるという経験ができ、有意義なものとなった。
- ・1日入学や中学校でのブロック交流（授業参観）では、今年度小学校の要望もあり、児童が中学校をより体験できるよう、変更をして実施した。特に、中学校での授業体験はとてもよい経験となった。
- ・家庭学習力アンケートを昨年度から実施し、データの引き継ぎなどスムーズにすることができている。小学校からのデータを引き継ぐことで、長いスパンで経年比較をすることができてとてもよい。

#### 2 課題

- ・小中共通で始めた家庭学習の内容については、小学校では児童で内容・質に大きな差があり今後指導を継続していく必要がある。
- ・今後更なる、小中連携の取組として授業規律が挙げられたが、それぞれの発達段階に応じ柔軟に決めていくべきである。
- ・教師の板書の仕方についても、小中である程度共通のやり方で進めていくが、中学校は教科によって同じやり方で板書ができない。例えば「まとめ」でなく「振り返り」のほうがいい教科がある。今後もブロック研で協議し、詰めていく必要がある。
- ・共通の家庭学習を始め、効果が分かるのは中学校入学後であり、1年生を対象にアンケートなどをとり実態を把握することも効果的なものかもしれない。
- ・学年に応じた義務教育9年間を見通した学力や家庭学習の考え方の共有をしたが、教員が変わってもブロック交流を通じて、今後も共通認識をもって取り組んでいきたい。

(ブロック長 三枝洋介)